

黒潮町カーボンニュートラルの取組

黒潮町環境政策室

CONTENTS

- 1 黒潮町の概要
- 2 黒潮町カーボンニュートラルのあゆみ
- 3 脱炭素先行地域事業について
- 4 「脱炭素×防災」について
- 5 まとめ

1 黒潮町の概要

- ◆「旧佐賀町」「旧大方町」の合併
- ◆高知県の西南部に位置
- ◆面積188平方キロメートル
- ◆人口9,982人
- ◆世帯数5,304世帯
- ◆高齢化率46.7%



延長約35 kmの美しい海岸線を有する町です。

1 黒潮町の概要



カツオの一本釣り



いごっそうアクアスロン大会



天日塩づくり



Tシャツアート展



はだしマラソン全国大会



ホエールウォッチング

1 カーボンニュートラルのあゆみ

黒潮町ゼロカーボンシティ宣言



公共施設等への再エネ設備導入（PPA）

オフサイト
PV整備

地域新電力会社設立

「脱炭素カルテ」作成の
戸別訪問開始

文教施設のZEB改修



地レジ（環境省）事業にて、
避難施設へのPV・BT整備



3 脱炭素先行地域事業について



脱炭素先行地域事業

「脱炭素先行地域事業計画提案書」
に基づき実施中

脱炭素カルテ作成

町内全戸を訪問し、省エネ・再度エネ
の啓発



オンサイトPPA

公共施設・民間施設にオンサイトPPA
にて太陽光発電背s津美の整備



オフサイトPPA

遊休地等を活用し、オフサイトのd根玄
確保、ソーラーシェアリングの実施



自営線マイクログリッドの構築

人口集中エリアでのマイクログリッド
の構築



脱炭素先行地域事業と防災

「防災×脱炭素×福祉」による地区防災計画の推進

矢守克也¹・宮川智明²・Gernot Stöcklehner³

¹京都大学・²黒潮町役場・³Boden Kultur Wien（ウィーン環境大学）

地方の小規模自治体にとっては、「**（電気）エネルギー**」の面で「**自立・独立**」することー大規模な電力供給網からオフグリッドし、地域マイクログリッドとして「自立・独立」することーは、「一石数鳥」もの複層的な効果を期待できる。日常的には、再エネ利用の促進、EVなどを活用した福祉・交通対策の推進、他方、災害時には、（福祉）**避難所での電力確保による生活環境の改善、医療体制の劣化抑止と情報的孤立の防止**などである。この意味で、近年、地区防災計画においても重視されている「防災×福祉」は、「**防災×脱炭素**×福祉」という形で拡大・再編される必要がある。

防災分野での脱炭素の取り組み

避難所の電源
確保

地域防災計画で指定されている避難所に
太陽光発電設備、蓄電池の整備

避難場所の電
源確保

津波避難タワーへの太陽光発電設備、
蓄電池の整備

電気のバケツ
リレー

EV・V2Lによる電力供給

避難所の電源確保

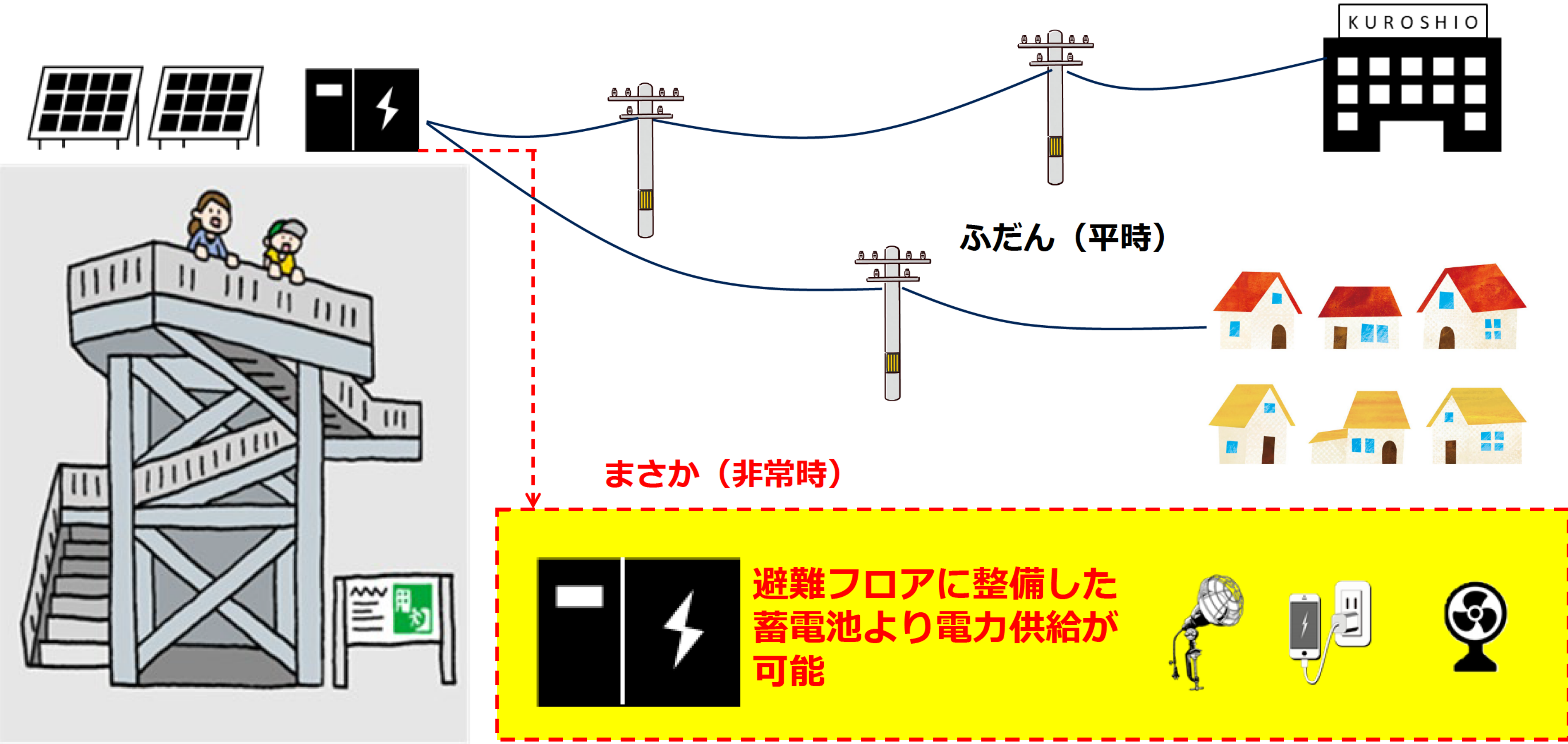


避難所への太陽光発電設備・蓄電池の導入

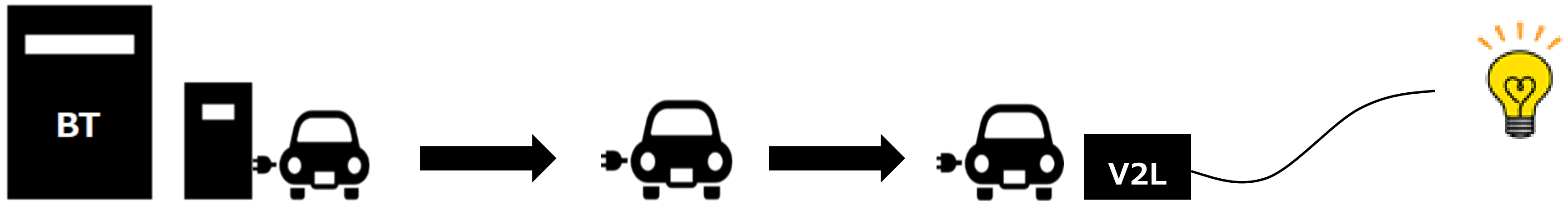
避難場所（津波避難タワー等）の電源確保



避難場所（津波避難タワー等）の電源確保



電気のバケツリレー



電気のバケツリレー

E V（電気自動車）が整備されることで、エネルギーセキュリティが向上

電気は・・・

「つくる」ことも「ためる」ことも「はこぶ」こともできる。

発電

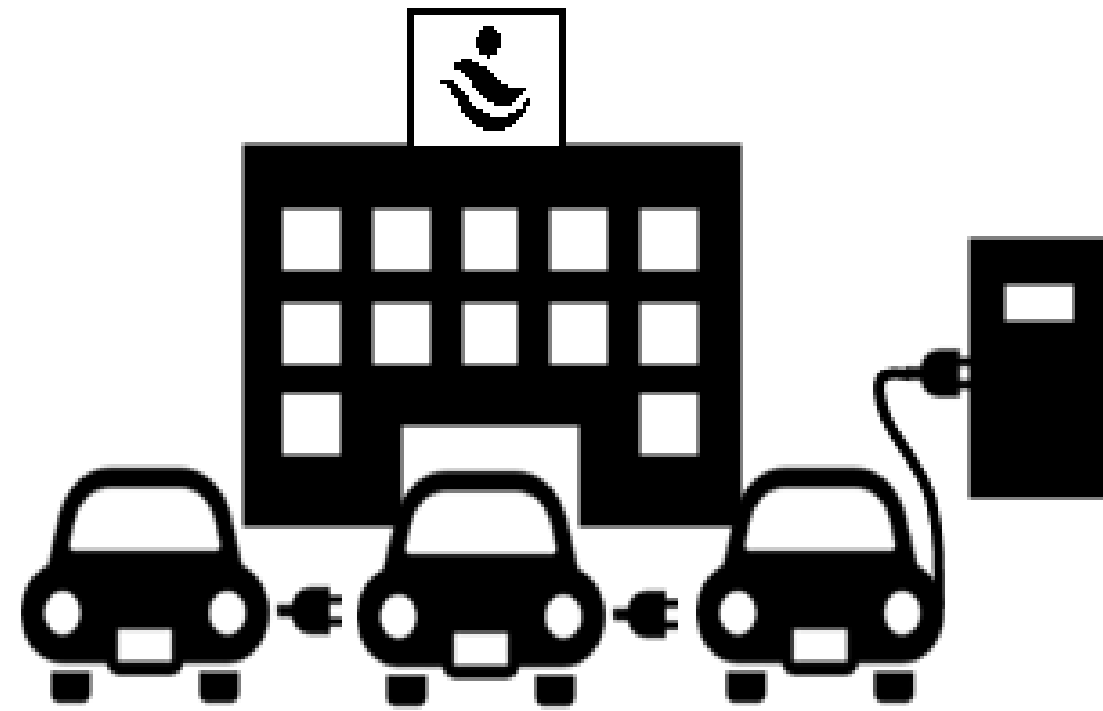
蓄電

外部給電



E Vは「走る蓄電池」である。

電気のバケツリレー



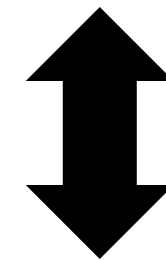
大型蓄電池（1MWh）



急速充電器（50kw）



ふだん（平時）：イベント等で電源車として活用



まさか（非常時）：避難所等への電力供給



「脱炭素×防災×観光」

2025.年7月30日：日経新聞

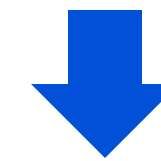
津波への備えを観光資源に 黒潮町観光ネットワークの高石
さん Portrait

2025/7/30 5:00 | 日本経済新聞 電子版

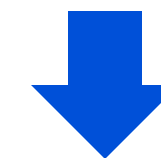


一般社団法人黒潮町観光ネットワーク事務局長、高石麻子さん

津波への備えの防災資産
(太陽光発電設備・蓄電池・V2L)

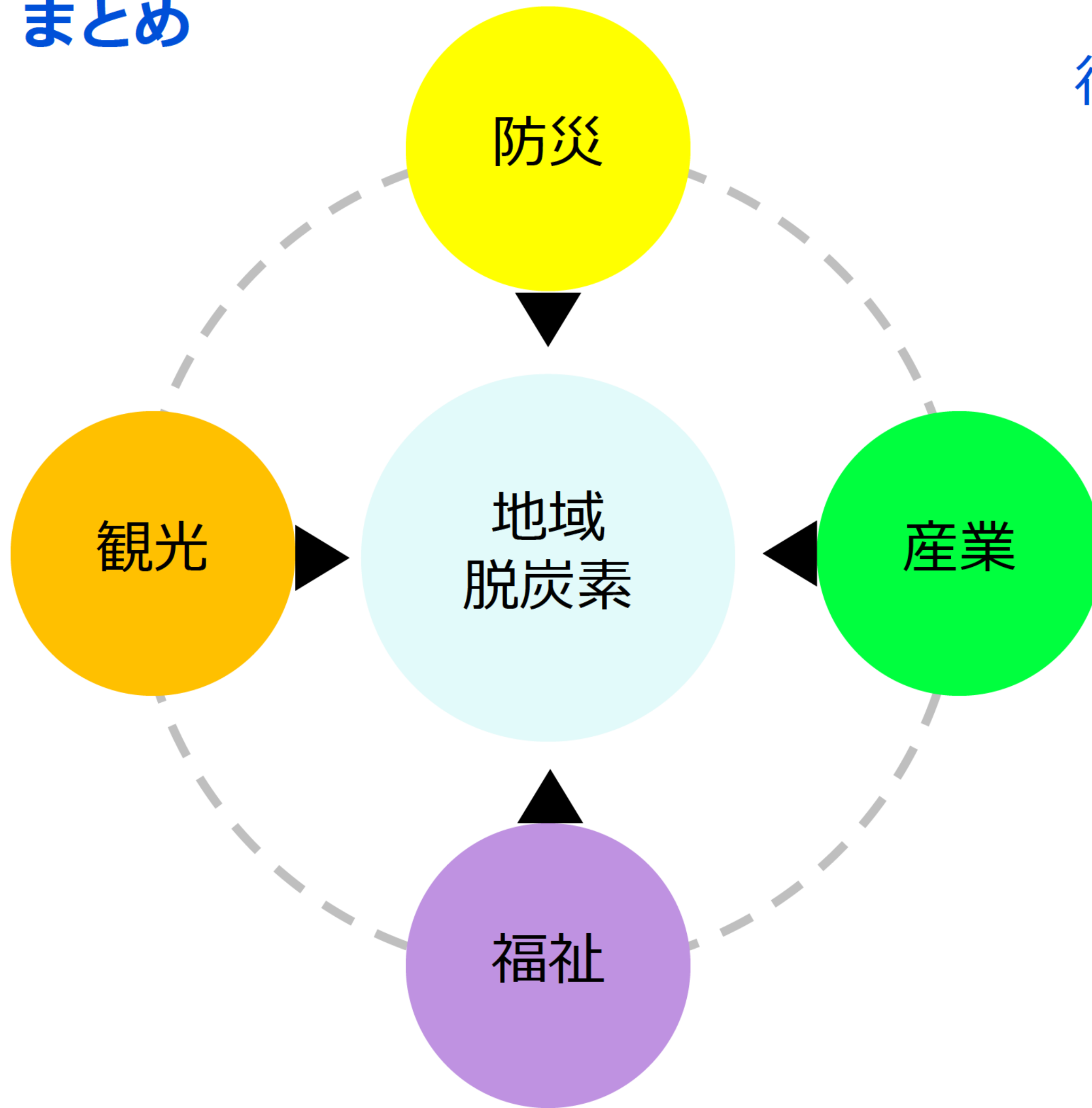


観光資源



防災ツーリズム（視察）の受け入れ

まとめ



行政施策を進めるうえで・・・
「**脱炭素**」の視点を！

地域レジリエンスの向上

産業経営収支の改善

ゼロカーボン福祉の実現

防災ツーリズムの推進

地域脱炭素を進めることで
「**地域課題**」を解決